

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  (1)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0716.46	ユダチ (ユウダチの ウビ マニニジイ)	
0724.12	jw:datʃi } <ともにいう> niwakaame } <島には 夏にはない。秋にはあるが>	
0747.70	jw:datʃi <多> niwakaame <少>	
0789.95	jw:datʃi <多>	ʃiɲwre
0990.97	ʃiʔaʔki <ʃitaki bijori da>	jw:datʃi
1942.03	jw:datʃi <秋口には ʃiʔaʔki>	
2649.79	ʃitaʔaʔx <特に秋に多い>	ニワガアX
2741.46	ʃamaʔaʔx <子>	ニワガアX
2753.44	NR <特に言わない> (?)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  (1)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0716.46	ユダチ (ユウダチの ウビ マニニジイ)	
0724.12	jw:datʃi } <ともにいう> niwakaame } <島には 夏にはない。秋にはあるが>	
0747.70	jw:datʃi <多> niwakaame <少>	
0789.95	jw:datʃi <多>	ʃiɲwre
0990.97	ʃiʔaʔki <ʃitaki bijori da>	jw:datʃi
1942.03	jw:datʃi <秋口には ʃiʔaʔki>	
2649.79	ʃitaʔaʔx <特に秋に多い>	ニワガアX
2741.46	ʃamaʔaʔx <子>	ニワガアX
2753.44	NR <特に言わない> (?)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ  (2)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
27 72.05	jwdatsī 〈?〉	
27 81.34	kaminariāme 〈?〉	
27 82.16	NR 〈ただ āme と言うだけ、特に語母1〉	
27 90.41	NR 〈特に言うことばがない〉	
27 91.15	# jwdadzī 〈共〉	
28 12.96	jwdatsī 〈X→夕に使わぬ〉	sitaki
36 19.08	ni <sup>r</sup> wafa <sup>a</sup> mē ē 非常に狭い	
36 39.49	ḡitagi 俄雨の意 秋に多しという	
36 48.28	sitagi 風の変わり目: 急に降る雨。	
36 49.16	ḡitage 夏から秋にかけてある トイ	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語	ページ (3)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
36 89. 38	niwaga-ame jūdadzī と	
36 99. 55	ユ-ダツ (1) コダツ (2) ↑ たはに KO	(1) 午後の急に降る雨 雷を伴わぬとあり。 (2) 極小部分に降る「アシコ (アキコ)にコダツ <sup>カ</sup> カ <sup>カ</sup> カ <sup>カ</sup> カ <sup>カ</sup> (カダツの転か)
37 02. 24	tamparaame <短腹雨の意>	
37 11. 98	NR 特になし 但し<雷>をとらざるは kampa-ame	
37 12. 89	kōdadzī ame (共) niwaga.ame 夏に限らないとの由	
37 13. 75	kodatsi コダツ クル	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	255		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(4)
夕立 119		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
37 20. 71	NR 呼稱は 1 ōame というが 適当でない。	
37 22. 97	た 1 niwagaame はあり	
37 24. 20	〈共〉 jwdatsi	mwrkadatsi
37 30. 43	niwagaame 〈夏に限らず〉	
37 33. 18	niwagaame 夏に限らず	
37 33. 22	niwagaame 夏に限らず	
37 35. 77	# タダスアX 〈老の由〉	
	向合せ中 73 12. 19 2	
	73 12. 23 返信以下の21	
	タダスアXに 75 6 11 17 1	
	カダ→タダの軽い	
	〈老の由〉→本人は 由とす	
	老人向には 5<の形	
	と用い3の意	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (5)
	255		
項目名			
夕立 110			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3740.82	sjtagi-ame ..... (1) "すれ日 夏に限らぬ。 miwaga-ame (1)は秋 西から風吹く 時に使う。	
3744.18	ユ-ダズ (夕方の雨)	ニワガアX
3745.62	カンダズアX (雷鳴あるとき)	井ニワガアX
3751.81	niwagaame (1) (1)は夏に限らぬ...と"うが, jüdatši (2) (2)は夏にかきまじうに日 とれたか は、ヨク(は)。 (2)は共通語的語イカ し(は)。)	
3752.53	piwakaame / eとみとむ sat.	
3752.89	jüdadzi ..... (1) (1)は共通語的 niwagaame ..... (2) (2)は夏とは限らぬ。 kandadziame... (3) (3)は雷雨	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (6)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3753.85	ニワカアX 〈雷鳴のたいとま〉	カダスアX
3753.88	カンダズ" (〜アX)	
3754.37	カンダズ" (〜アX)	
3757.09	kandatʃi「aʔme 〈雷の雨の意〉	
3757.32	リコダジ". ライウ(とち)	
3760.58	miwaga-ame 夏とは限らない。	jũdadzi
<del>3760.93</del>	<del>ko~dadzi</del>	
3762.85	kandadziame (雷雨)	miwagaame
3763.17	カンダズ" (〜アX) とち ニワカアX	
3770.49	NR 特殊な miwagaame はあり	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  (7)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
37 72. 73	mūra-ame ..... (1) (3)は雪ととむらう。 niwaga-ame -- (2) kandadziame -- (3)	
37 80. 65	kandadzi (雷雨)	jūdadzi
37 81. 49	kandadziame 夏に多いが夏に限らぬ 雷雨には、11・12月にもある 必ず雷ととむらう。	
37 81. 86	niwagaame 但し夏に限らず	
37 82. 12	kandadzi <雨>に「マ」。他地域では多<雷>	
37 82. 38	kandadziame ... (註) 註. この雨は雷鳴が あつて降つてくるといふ。	niwagaame

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (8)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
37 85. 42	オカダス アX (雷が鳴らばい時) レ?サマ (雷が鳴るとま)	
37 87. 45	カンダス (商人)	レ?ギアX
37 90. 27	Kodadzï (雷さとも何うこと多し)	niwagaame
37 91. 02	ka dadziame 鼻音化とみとむ. Sat.	
45 88. 98	joidatstï いとみとむ Sat.	
46 09. 68	jw:dadzï <雷を伴う> miwagasame <雷を伴わず>	
46 18. 49	(2) yw:datsi	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
	255		
項目名		[B 除いた共通語]	(9)
夕立 119		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
46 18. 87	o:zaragw トとみとむ。 Sat. Tok.	o: same zaragw
46 19. 63	niwagasame <稀>	jwĩdadzĩ
46 28. 28	yw:datswĩ <降、来、うに、た、いの、に、急、に 天気が変わって降、る、く、の、> niwakasame <時を降、る、く、の、>	
46 28. 61	jwĩdadzũ <sup>注に付</sup> jwĩdadzũ とする sat. (jwĩは jō と同様に、中音の子音 ア、イ、語のウの音に似る) kandadzũ <夏と秋のつかい頃から>	niwagaame
46 37. 20	o'ame (は、め、こ、う、答、え、た、が、夕、立、ち、と、は、限、ら、な、い、 という理由でとり上げない。)	

jw:datzĩ (採) Sat.  
(雷と伴う。)

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ  (10)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4639.69	yw:datsw̄ <雨だけあめの> okadatsw̄ <雷を伴う日の>	
4643.47	piwaka ame <ju:datsi と「あす」>	
4644.10	aɾme <ユ-ダ4村とは言いわけい> (この辺にはあすけい。サドメアサダ, I4ゴのユ-ダ4とは言うが、これは ニワカアXではない)	
4648.42	kadatsi <sup>用例</sup> <kadatsi kakatte kurw> (夕立ちか降りけいにはア(3)?)	
4648.59	ka'datsi <希> ka'dadz̄i <希>	
4653.84	juw:dat̄ȳ 夏の終わりにから秋にア(3)と多い。 ty = 破擦音化 (調査者の言)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  (11)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
46 63.49	ju:ratsi → [新]かと疑われる。これに 当る語は他にないよう ある。	
46 63.92	ka <sup>r</sup> mimarisame <雷が鳴って降ったと云>	ɲi <sup>ɲ</sup> akasame ju <sup>r</sup> :datʃi
46 75.45	ju:datʃisame ... 雷を伴うもの。 otʃiare ... 雷を伴わないもの。	
46 76.67	ju:datʃi — 二度目の発音	ju:dadzɪ
46 87.01	ju: <sup>ɲ</sup> datʃi ... (ju: <sup>ɲ</sup> datʃi kurw 等と 用いる。) kandatsi (?) (kandatsi-sora は夏の晴れ たり降ったりする空で kandatsi は夕立のことらしい。然し kandatsi kurw とは言わぬという。 よく分らない。)	
	↳ 採 sat.	



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。  
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  (12)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
46 87. 37	odosiame (落し雨?) <totswdzen (突然)の 雨を云う。→ (俄か雨のこと。)>	jw:datfj jw:datfjame
46 88. 45	jwdazi niwagaame <同じく用いる>	
46 89. 62	kaesamaame (雷をともなう場合)	niwagaame
46 94. 95	dasiare <季節を問わず、突然に降る大雨を云う>	jw:datfj
46 97. 92	jw:dadzjame (共) kaesamaame (共)	re:samaame
47 03. 18	sijwre …… (夏でも云う。季節に関係ない) ore:samaame (雷の有無に関係なく、こゝ呼ぶ たたいこは上りのsijwreとは 違って大粒の雨に限る。)	niwakaame
47 03. 88	ole:samaame <雷鳴がたつと云う?> gorogorosama <子>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	255		
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(13)
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
47 05. 20	ニワがアX <雷が鳴らばいとよ>	オレッサマアX
47 06. 53	stjwle (?)..... <季節に関係ない> ole sama ame ..... <雷鳴を伴う場合>	
47 11. 49	ニワがアX 雷を伴わない場合 カダスアX 雷を伴う場合	
47 12. 16	Laew ..... <雷が鳴らなるとも、夏に急に 大粒の雨が落ちてくればこう呼ぶ。>	
47 13. 45	OLE: sama ama } (雷を伴わないとも) Laiw (上) } e: 訂正 73.9.1付 調査者の返信にお	
47 13. 60	ntwaga ame ..... <雷が鳴らば場合> LE: sama ame ..... <雷が鳴る場合>	
47 14. 22	okadatzw ame .... <古>	OLE: sama ame

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (4)
	255		
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
47 14. 68	okadatsw ame 〈古〉	miwakaame
47 15. 33	ole:sama ame ... 〈雷鳴を伴う場合〉	miwaka ame
47 24. 00	laew 〈?〉 *ole:sama ame sinwle (?) ..... 〈雷鳴がないうちの〉	
47 25. 68	ore:sama ame ㄱ ..... 〈特に雷が鳴る場合〉	miwaka ame
47 26. 80	kandadzwa (ame) ... 〈雨をわけない場合の方が多いか〉 ole:sama ame 〈稀〉	
47 30. 96	okadattsama ame ..... 雷雨 piwaka ame ..... 単なる俄雨	
47 32. 86	re:sama ame 〈雷がなくとむ、こうい〉 にわか雨はこのように呼ぶ。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A) 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (15)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4735.37	miwaga ame ---- 〈雷に肉付けは言う〉 [aew] <上> ole:sama ame ---- 〈雷が鳴る場合〉	
4736.63	sikwre	niwaka ame to:rw ame
4740.26	raesama no amé rae amé niwaga amé e とみと sat.	
4741.43	raisama ame <raisama 鳴ると王〉	piwaka ame
4741.44	ニワカアX ラエサマアX ユ-ダスアX	ニワカアXは普通 雷を伴わない ものをい、 ラエサマアX, ユ-ダスアXは雷を 伴ったものをい、
4742.37	gologolo sama <子〉	ole:sama ame

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (16)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4743.44	ole:saname ... <雷が鳴る場合>	jɪwːdatsɯ
4743.61	ora:sama ame (雷が鳴らなくとも こう呼ぶ) 〃	
4745.27	siŋwˈreː ... (夏にのみ使う)	ora:sama ame
4746.20	kandatsɯ ame <古> laew <新>	
4750.32	カミリアX 雷を伴う場合に限る	オガタス
4750.76	raiame <雷が伴う>	miwagaame
4753.76	olaesaname <古>	laew
4760.64	{ogaɖadzũ ame} ㇿとㇿと sat.	{kaɖadzũ} {ogaɖadzũ}

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。  
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
 ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (17)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
47 61. 93	kadatʃiam-e <雷を伴う場合、言う> raesamaame <これ以上記と同じ> jw:datʃi <雷の鳴らばい場合、言う>	
47 62. 56	re:sama ame (雷の鳴らばいと目言う)	
47 62. 90	niwaka ame <雷を伴わばいとマいう> raesamaame <雷を伴うとマ、いう>	
47 62. 99	re:samaame <雷の鳴らばいと目言う>	
47 63. 62	ole:no ame ..... <雷鳴を伴うもの>	niwaka ame
47 71. 58	kadatʃame <古> re:samaame <古>	jw:deʃi
47 73. 27	ore:hā re:hammel:訂正. 73. 6. 7付 調査書の返信にする。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (18)
	255		
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4773.78	oraesama ame <必ず雷をともなう>	miwaga ame
4780.64	[aiw <雷の降物が1時の雨(2-94)にともなう> 疑問があるため不採 sat.	
4781.86	raesama ame <raesama ame は raesama ame dagara hajagur ayatt など. 慣用 句の中で使う.>	jw = datsi
4782.04	raesama ame jw = datsi <両方 ともに>	
4790.74	miwaga ame <両方同様に使う> raesama ame	
5586.70	jo = datsi jwidatsi 上形が優先	
5595.05	jo = datsi juidatsi 前者が優先	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  (19)
	255		
項目名			
夕立 19			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 02.99	jw:datʃi <老人は jw:datʃi と云う> └ 不採 sat.	
56 08.51	[e:sama ame (雷が鳴ってママ いなママ使用する)	
56 12.22	arasu ame 嵐雨の軽さ。最初に二つを 重た。	
56 12.39	エウツ	
56 15.28	jw:datʃi <「雷さともなう場合は何と云う時 か」に対する答。)>	jw:datʃi ame
56 17.85	jw:datʃi niwaka ame <jw:datʃi b' 3.3>	
56 18.43	jw:dadzi kaesama ame <jw:dadzi b' 3.3> neaga ame 皆同じに使う>	



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  (20)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 21. 43	miwaka ame ... <但し 夏のみに限らない。> ju:datʃi ... <春・夏・秋の午後1時以後に 3.3 多雨を云う。>	
56 23. 42	kandatʃi (~ga huru) <稀>	ju:datʃi
56 26. 92	ju:datʃi (かならず雷さともなう日)	
56 26. 99	オオアX (夕立とけいけいないうた) カンダアX <ナト>	
56 31. 75	jo:datʃi <古>	ju:datʃi
56 35. 48	オカンダ <上>	カンダ
56 35. 65	カンダ <古>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( ) ( ) は厳密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  (2/)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
56 36.74	オカンダチ <フツウツカウ>	カンダチ
55 75.00	jū = datʃi └ i と認む。	
56 41.73	kandatʃi ... [雷をとむなう]	jo: datʃi
56 42.31	niwaka-ame <希>	ju: datʃi
56 48.96	? ライアX → 雷が鳴る時 降る雨。 ユウダチ (ユウダチとは言ハせ(か)の内に 対して、<ユウダチ という>と答 ズマッる。	
56 49.29	シグレ 夏でもシグレという	
56 52.37	okandatʃi <雨が降る時 降るといふに okandatʃi kita zo: あまりに言>	ju: datʃi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (22)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 55. 41	アサダチ 〈アサゲナラ〉	ユウダチ
56 57. 73	アケアキ 〈希〉 〈雷鳴きともなわな〉	
56 58. 89	ユウダチ (雷雨の時い。)	ニワカアキ
56 61. 89	kamdatʃi (雷のとも kamdatʃi)	ju:datʃi
56 65. 46	ヤツカヤマノサンゾクアキ 〈ムキサンゾクマルク ワチ=フル〉	ヨオダチ ユウダチ
56 67. 41	ユウダチ 〈アニマリ フラナイ〉	
56 67. 77	{ sigwre } 同様に使う { ju:datʃi }	
56 67. 81	ユウダチ 〈ライサマカトモナウト〉	ニワカアキ
56 68. 88	ニワカアキ 〈一般的な言い方〉 ユウダチ 〈雷がなつて、雨が降つてく時い〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問【番号】	地図番号	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ
項目名 夕立 119			
		(23)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
56 71. 94	tokisame <新>	ju:datʃi
56 77. 28	コウダチ …… <普通> コウダチ …… <夕立とは限らぬらゝい>	
56 78. 71	niwaka ame (普通という。)	ju:datʃi
56 80. 34	「jo:datʃi [俄雨は arasa] I アラキ (にわかあめ)	
56 87. 32	コウダチ <普通> コウダチ (オミ者の 質肉によつて)	
56 88. 01	コウダチ <普> フツクアキ (フツクアキは台風やくる一日前 位に降り雨。通る雨らしい)	
56 91. 37	ju:datʃi <朝降、アサユダチトクマ! ユダチだ >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( ) は厳密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  (24)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5697.86	ju:datʃi <雷が鳴っている時使 ju:datʃiame [ju <sup>(r)</sup> :datʃi(ame)]>	ni <sup>r</sup> wakaame
5699.89	iwkkakeame <土用の頃、南から東に向けて 降る雨の雨。> kandatʃiame <風むまのかわる時に降る。>	
5700.32	niwakaame <これも使う>	ju:datʃi
5701.73	raesamaame <子供に対して使う>	ju:datʃi
5702.07	ju:datʃi <雷が降らぬ時、使う> raesamaame <雷が鳴る時、使う>	
5703.03	niwakaame <普通使う>	
5711.85	raesamaame <希>	ju:datʃi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (25)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
57 12. 17	jw = datʃi <これだけ使う>	niwakaame
57 12. 70	jw = datʃi [ojw = datʃi と同]	
57 22. 37	niwagaame jw = datʃi <すべておなじ> re = samaame	
57 23. 36	raew <raewは あたらしく> raesamaame <古>	
57 31. 13	niwagaame 一年(ゆ) 117マカ. Kadadzame 夏だけ	
57 32. 13	jw = datʃi <雷を伴う> hwkkaʃe <雷があつた時だけ>	
57 32. 78	re = ame <雷を伴うもの>	hwkkaʃeame

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (26)
項目名 夕立 110			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5740.43	ユウダチ …… < 多く使う > シツレ …… < ユウダチのこゝとさ日 合めマ… >	
5741.25	ju:ɕatsi 別に調査して他の被調査者にすれば oɕwkake	
5741.66	[oɕwkake] (教育委員会の人-当地区身-の助言に)	
5751.60	ju:ɕatsi < 雷がある時 >	miwakaame
5752.94	誘 ju:ɕatsi	
5760.57	i:da(d)ʒi (誘) xkkage	
5761.27	miwakaame < 雷を伴うこと > kaesaname < 雷を伴うこと >	
5761.91	xkkage < 雷が たらこと >	fū:daʒi ʃiɲwkeame
5770.11	raeame < 雷を伴うこと >	xkkage
5772.00	ʃiɲwre i(w)kkage } 三者併用とする。 x(w)kkage ame	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (27)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5772.84	ʃiŋwre 〈雷雨の場合〉	miwaka ame
5780.11	(誘) ʃkkage	ʃ:da(d)ʒi
5780.57	ʃw:da(d)ʒi } 三者併用とする ʃiŋwre (ame) } ʃiŋwreame	ʃw:da(d)ʒi ʃiŋwre ʃiŋwreame
5790.64	hajate 〈古〉	kaiame
5792.02	ʃiʔhwré éは狭いe	
5792.18	zaʔttsa:bwri 〈多〉〈黒い雲が来た通り雨〉	
	ʃwʔdaʔʃi ↓ ʃiʔhure	〈新しいこぼ。雷はあつたあつた(雷)〉 〈雷を伴った〉
5792.62	ʃiŋwre	〈俄雨一般。夏に限らぬ〉



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (28)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
57 93. 74	Φwkkate <多い>	to:kiame
62 87. 71	Takeburi <こういうこともあるがこれは通り雨のことでは夕立に限らば!!>	
63 69. 32	古 ヨウダ <sup>4</sup>	ユウダ <sup>4</sup>
64 01. 89	ミラサ (村雨の略?) ニワツア <sup>x</sup> <併用する>	
64 02. 53	ムラサ (村雨の略か)	
64 02. 94	ムラサ (村雨) シカケ <古> ~ガヤツラクル シカケとす Sat.	
64 07. 28	ヨオダ <sup>4</sup> <古>	ユウダ <sup>4</sup>
64 08. 15	カミナリ <共> これはちおと変Eが 119と120の 分布をみるとこの地帯が「夕立」と 「雷」の混同地帯のせいか Sat. Dehナリ ヨオダ <sup>4</sup> カミナリ(共)→併列	ヨオダ <sup>4</sup>

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (29)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 08. 88	カミナリ 〈共希〉	ヨウダ
64 10. 45	ムラサ 〈昼〉 (村雨の略) イウダ 〈夕〉	
64 10. 77	イダダ 〈新〉 ミラサ 〈小エッコの〉 (村雨の略) トオキキアキ 〈大エッコの〉 (胴突雨)	
64 11. 66	ムラサ (村雨のこと)	カミナリアキ
64 13. 10	jo: datʃi (この地方は朝降, マカ ヨ-ダ, 昼に降, マカ ヨ-ダと言う)	
64 14. 17	ju: datʃi (朝降, マカ 夕立という)	
64 15. 80	jo: datʃi 〈古・多〉	ju: datʃi
64 17. 14	ju: datʃi (朝降, マカ ヨ-ダ, ヨ-ダと言う) jo: datʃi 〈古〉 (ヨ-ダは側の杖長の語形と 互い, 被調査者も同意した。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (30)
	255		
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 或した語形とその注〕
64 18.13	ユダダ <希>	ヨオダダ
64 18.75	ユウダダ <共>	ヨオダダ
64 19.09	ヨオダダ <古>	ユウダダ
64 19.50	ニワカア <sup>x</sup> <共> ライウ <希>	ヨオダダ
64 20.58	ヨオダダ <古>	イイダダ
64 22.16	ヨオダダ <古>	ユウダダ
64 26.04	jo:datʃi — (ヨ-ダダは山下先生の発言, 本人もみとめた)	ju:datʃi
64 26.47	誘 joʳ:datʃi <古>	juʳ:datʃi
64 27.40	jo:datʃi [古]	ju:datʃi
64 29.15	ヨオダダ <古>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (31)
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 29.61	ユウダチ ヨオダチ <両称の言い方を区別なく用いる>	
64 39.61	コダチ ヨダチ 両称を混用	
64 47.08	]udatʃi [u]は短い. ]odatʃi [古]	
64 49.19	コダチ <新>	ヨダチ
64 54.88	ヨオダチ ユウダチ (区別なし)	
64 58.08	ヨダチ <古>	
64 67.73	sobae <日照雨> ① sobae (孫平氏はこれは日照雨という)	ju:datʃi
64 76.17	ソバイ <古>	
64 77.02	ドントロバエ <雷を伴ったとまやさい。>	ソバイ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (32)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 79.95	?シヨウウ ?ニワカアキ ?ユウダダ (ソバエ)	
64 81.15	ハヤテ <雨と風の同時に3.3時11ウ。実際は夕立のことである> アキカセ → 又、昔は、ヒドイ「南風」シキ」として、夕立とは言わなかった>	ユウダダ
64 84.43	ソバエ (季節にカキウらた。俄カ雨はソバエである。カキウで、ユキソバエという言葉もある。)	ヨオダダ ヨダダ
64 85.82	<古>ヨオダダ <ヨオダダは在所(田舎の方)は今でも用いられる。>	
64 86.50	ユウダダ 大粒でヤヤ長い時間降る俄雨 ソバエ 俄雨の小粒で短く降る時にいう。	ヨオダダ
64 87.43	ユウダダ (バンゲ=アバ「ユウダダ」と説明した。バンゲは夕立のこと。)	サダダ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕( )は罫密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (33)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 88.48	so <sup>7</sup> ba <sup>7</sup> i <夏に限らず、にわか雨を言う>	
64 88.85	ソバエ ユダ <sup>7</sup> 両用する	
64 91.49	ju:dat <sup>7</sup> si <higwke ni ki-ta のE 1.3。>	sobae
64 91.65	ju:dat <sup>7</sup> si <夕方以降のE 1.3。> (higwke と書いた。)	sobae
64 94.55	ユダ <sup>7</sup> <ユダ <sup>7</sup> の方が多く使われる。> ヨダ <sup>7</sup> ヨダ <sup>7</sup> は漁師が多く使う。>	
64 97.41	jo:dat <sup>7</sup> si <夕> sa:dat <sup>7</sup> si <朝>	
64 98.61	sa <sup>7</sup> dat <sup>7</sup> si (朝の場合)	ju:dat <sup>7</sup> si
65 03.73	miwaka ame ju:dat <sup>7</sup> si	ju:dat <sup>7</sup> si は雷の付くとE 1.3。言う。 雷の付くとE 1.3は miwaka ame.

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (34)
..	255		
項目名			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 10. 65	ヨダ4 <古>	ユウダ4
65 11. 85	ju:datʃi ちう一人別に調査した被調査者は、 古は jodatʃi だたという。	
65 12. 09	jodʃi 半長トスル Tok.	jw:datʃi
65 15. 24	iudatʃi <iu:datʃi とはたない>	
65 15. 70	iudatʃi <古>	iu:datʃi
65 17. 31	<稀> ヨウダ <sup>ハ</sup> ツア <sup>マ</sup> <共> ニワカマ	ユウダ4 レ <sup>ハ</sup> ウ
65 22. 93	ヨダ4 ㊦	ユ-ダ4
65 23. 86	ju:datʃi <老人は jodatʃi と書いた>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  (35)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 24. 66	hayate <これを使うことが多い>	yu:datʃi
65 25. 05	yodatʃi (yoは短い)	
65 28. 64	1. ju:datʃi'aʔme <1は雨の種類をとくに表すために使う。 2. ju:datʃi 2は雨も雷も云々(3は7は) "うぶ" 等の時の雨を表す。 ju:datʃi ja ʃwt.'teʔ kita >	
65 29. 88	jo:datʃi <古>	ju:datʃi
65 30. 58	ヨダダ <古>	ユウダダ
65 33. 31	ヨダダ <古>	ユウダダ
65 37. 58	jo:datʃi <古>	ju:datʃi



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。  
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
 ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  (36)
	255		
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
65 41. 27	ユウダ <sup>4</sup> [ヨダ <sup>4</sup> ]	
65 41. 52	ヨダ <sup>4</sup> 〈古〉	ユウダ <sup>4</sup>
65 42. 27	ヨダ <sup>4</sup> 〈古〉	ユウダ <sup>4</sup>
65 42. 32	ユダ <sup>4</sup> 〈古〉	ユウダ <sup>4</sup>
65 45. 41	yu:datʃi [現在は殆ど長音形である] yudatʃi 〈古〉〈今でもこれを年寄りを使う〉	
65 46. 73	hajate 〈この方がほう〉	ju:datʃi
65 47. 09	jo:datʃi 〈古〉…〈今はもう言わない〉 (イニフォーマントは jo:datʃi を使って 113 歳だと 30 である。120 歳の場合 反応では jo:ɔtʃi ばかりに似た。)	ju:datʃi



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (38)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 53.99	jodatʃi (「ヨダチ」)	
65 60.22	ヤバエ —— 〈風を伴うもの〉	ユウダチ
65 72.29	judatʃi 〈今では 御所帯だが、旧 <sup>ワガミ</sup> 旗上村 に付ると、〔jodatʃi〕という。 (この裏、旧御所帯とちよといたと: が ちびうりである。)	
65 72.55	ju=datʃi [妻は hasiriame とおいうとん]	
65 74.52	jodatʃi (「ヨダチ」)	
65 81.52	ヨダチ 〈こいう人もある〉	ユダチ
65 83.45	jodatʃi (「ヨダチ」)	
65 91.02	ユウダチ [年がた、ヨダチという人がある]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255		
項目名		〔B 除いた共通語〕	〔C 除いた特殊語〕
夕立 119			
		(39)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 92. 10	ヨダダ <老人が用ひたまはれたことある>	ユ-ダテ
65 94. 67	ヨダダ <とちらマモイ>	
66 05. 84	オカンダダ [古]	ユウダダ
66 09. 05	ユウダダ <昔通士が、ヨ-テ カカッタカラ ハヤクニケロと云う風にいた。> (但し之は夕立雲のおしせまく 時といふ。)	
66 11. 61	ju:datʃiame <新>	jo:datʃiame
66 13. 07	ユウダダ <古>	ユウダダ
66 18. 51	~kandatʃi... (1) (1)は(2)の下略形か、)	
	kandatʃi ame..(2) <=>とも同いこと。>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ  (40)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
66 21. 57	jo:datʃi 120. 121 さぶむ	
66 24. 65	jo:datʃi 古	ju:datʃi
66 26. 06	-ju:datʃi <雷を伴うものを言う>	-kandatʃi
66 28. 64	[-kandatʃi] <お雷が鳴って降れば:言う> 〔kaʀminariziʀyure〕 <kandatʃiと丁寧に言うとき>	-ʃiɲure
66 30. 58	jo:datʃi <古>	ju:datʃi
66 30. 43	1. jo:datʃi (1.は119, 120の両方に該当する意味をわづかと思われる。) 2. jo:datʃisame <2.は雷雨と他の雨と区別をするために使う。>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (41)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
66 30.82	jo:datʃi <古>	jw:datʃi
66 33.33	jo:datʃi jo:datʃiame 上を多く使う。	
66 34.07	niwaka — 夏以外にかい。	jw:datʃi
66 35.87	niwakaame 希	jw:datʃi
66 36.05	kandatsi (~ja huku)	jw:datʃi
66 39.79	kandatsi <希>	jw:datʃi
66 42.33	jw:datʃi } 同一程度に使う。 jo:datʃi }	
66 42.58	jw:datʃiame 少	jw:datʃi
66 42.85	jw:datʃi ---- <雷が jw:datʃi でおそ ため, ちよとすう> (たかに 答之に<さうだた)>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買用番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (42)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
66 45.01	kandatsji ( ~ ga Furukw という。)	
66 45.62	zabwri < 季節に(度)候は< 降る 激しいにわか雨を言う。>	jw:datjsi
66 46.74	kandatsji < 雷雨のこと >	jw:datjsi
66 49.55	# inwtasame < こゝ一時的。日に数回降るのが普通 >	
	jw:datjsiame < 伴雷。一回マリのことが多い >	
	kandatsjiame < 伴雷。一回マリのことが多い >	
	hakobiame < 夏。降、りけ止み。降、りけ止み。 >	
	kazepa:si < 一回マリ >	
66 52.06	ojo:datjsi ) 上と多< 使う、 jo:datjsi	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (43)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
66 53.30	odokasi āme 夏だけ季節に限らぬ。	ju:datʃi
66 67.81	murasame <古>	-ju:datʃi miraka āme
66 77.70	kaʃminaridziki <「雷」9音>	
66 86.75	kaʃminaridzike āme > <両方とも同様の 両方使う>	
66 98.20	pimakaame <多<使う>	
67 00.25	murasame [古]	kamdatʃi ju:datʃi
67 01.46	murasame <古>	
67 02.21	NR. 夏の後雨に7112の特殊な1 後雨一般については siŋwre	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (44)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
72 08.97	sobe: <sobe: は時を丁と降る雨で、時雨のように秋冬の候の雨に限らず、年中使う語>	ju: datʃi
72 18.26	「mimaka <sup>7</sup> ame <古>	「ju: datʃi
72 46.45	sadat <sup>o</sup> <sup>o</sup> は内破音	
72 58.82	ju: datʃi <夕方3.3雨> } (この区別は被調査者の手記にて; sadatʃi <昼の低雨> } 一般には sadatʃi と [sadatʃi... 夕方降るむ] 使うらしい)	
72 75.07	カ <sup>h</sup> ッパ <sup>h</sup> X <u>カ<sup>h</sup>ッパ<sup>h</sup>X</u> (河童雨) の意	ユウダ <sup>h</sup>
72 79.01	サダ <sup>h</sup> (古) 肉合中 73.8.26 2 ニワカカX 73.12.19 現在返信なし ? 採用とする。 sat.	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (45)
項目名 夕立 110			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 01. 67	jw: da tsi (d=dとrとの中間音)	
73 02. 71	jw: da tsi (d=dとrの中間音)	
73 08. 48	subai..... <この方が古い>	jw: datsi
73 16. 93	-jo: datsi <古希>	-ju: datsi
73 20. 59	jw: rat si (ゴウダの訛音)	
73 29. 57	jw: dat si <夕降, 2<3と113.> <冬降, 2<3や1は <u>sigure</u> という.>	piwakaame
73 32. 97	jw dat si ヲ-夕4時	
73 38. 48	miwaka-ame <午後の4時:30まで>	
	jw: dat si <午後4時:30から以後のさ>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買付番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (46)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
173 40. 24	ユウダツ ju:datʃi- 電話で小野氏にたのびた (49/2/21 Tok.)	
173 49. 07	sadate (sadatʃi という) (ある。32年調)	sadateame
173 52. 14	ヨズ < 晩の夕立のとき >	ユウダツ
173 59. 78	sadatʃi < 冬はら signature >	
173 62. 42	ユウダツ	
173 67. 49	jo:zu < 古 >	jo:datʃi-
173 68. 32	jo:zu < 古 > sadatʃi < サダツは海上用語、舟乗、漁師が主に使う。 >	jo:datʃi
173 73. 23	ユウダツア (ユウダツとアは云々は「ア」である)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ
	255	
項目名		(B 除いた共通語)
夕立 119		(C 除いた特殊語) (47)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 73.56	ユウダチ <サダチとはズケない>	
73 73.92	ニワカアキ <新>	ユウダチ
73 74.15	ユウダチ	
73 82.93	サダチ 朝晝 <small>?</small> をい動かす突風を伴って来る雨をい	ユウダチ
73 86.55	judatʃi.....<雷が鳴るの烈しい降雨> sadatʃi.....<雷が鳴らすに烈しい降雨>	
73 91.94	サダチ <優勢>	ユウダチ
73 92.45	ニワカアキ <新>	ユウダチ
73 93.62	(?)ニワカアキ <新>	ユウダチ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (48)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 95.09	(sadatʃi)--- (ニ、三日 そのような状態が幾度か 特に言うようである。従って、時季 的な概念を含んでいるから、 この場合の答としてだけは 外れているように思う。)	ju:datʃi
74 00.11	sobai < 降り具合に、 o:sobai, ko:sobai, という。 >	
74 00.15	sobae ( <u>通り雨</u> または <u>日照り雨</u> 程度の 短時間のときは <sobae> という。 )	
74 03.16	nimaka-ame < 雷を伴った。 >	ju:datʃi
74 03.86	ʃigute ( <u>「おひき」とおひきめ</u> という曲 )	ju:datʃi
74 07.24	sadatʃi 朝; 昼の場合をいう。	ju:datʃi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (49)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
74 11. 61	hadtsi < 雷が鳴るとけな。 >	ju=datfsi
74 14. 06	ju=datçi < 共 >	
74 20. 18	ju=datfsi < こまかな雨が降るとは a b カラッと晴れたときは boro de nezita という。 >	
74 21. 38	ju=datfsi < 新 >	sadatfsi
74 30. 15	sadatfsi < 両方とも、降り方、降り時に区別 はなし。 >	
	ju=datfsi < 通り雨のような降り方には boro ga sita 一雨来りうが空模様た、たに。 ばらばらといたはけて晴れた、た あは boro de nezita という。 >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (50)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
74 31. 13	ju=datʃi (〈夕たたら〉と説明していた。)	sadatʃi
74 32. 44	ju=datʃi 〈子〉	sādatʃi
74 34. 02	niwakaame ..... (?) haite ..... 〈海上のわか雨。風も伴う〉	
74 40. 72	sadatʃi 〈sadatʃi は朝のたのて ju=datʃi は夕のたのてと区別がある」と論じて「人日がある日は区別した」といっていた。	
74 41. 19	sādatʃi 〈古〉	ju~datʃi
74 51. 77	jūdatʃi 〈共〉 sādatʃi 〈多〉	
74 60. 30	* sadatʃi	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	255		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(51)
夕立 119		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
174 171. 38	sādatsi bo: zuhafirakasi	
	サダタを多く使用し。 ホースノシラカシは少い。	
175 01. 68	ダフリ 〈少〉	ユウダダ
175 04. 27	judatsi ju短	
175 10. 18	ヨダテ 〈多く使う。〉	ガフリ
175 21. 179	ダフリ (ガフリの変形)	ユウダダ
175 22. 48	ヨダテ 〈古〉 ガフリ 〈希〉 〈こころいづ人目ある。〉	ユウダダ
175 33. 11	ダフリ (ガフリの変形)	ユウダダ
176 59. 51	? niwaka ame	
176 59. 62	odosiame 〈夏に限らず。1ヵ月雨一般〉	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (52)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
83 01.19	サダチ —〈古来から現在まで用いられる〉	ユウダチ
83 02.19	ユウダチ 〈サダチとは言わない〉	
83 02.91	ユウダチ	
83 03.84	ユウダチ 〈サダチとは言わない〉	
83 12.33	ju:datʃi! (サダチは言わない)	
83 13.88	judat (ユダチの語尾の入声化)	
83 15.42	sadatʃi → 昼前降る ju:datʃi → 晩に降る。	
83 23.59	〈#古〉 sadat 〈新〉 judat	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (53)
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
83 31.98	sa <sup>ɾ</sup> da 夕方に降る雨と限らず、にわか雨のこと。	
83 34.25	judatʃi or judat (この場合は judat という方が多い。) 2263)	
83 34.63	ju <sup>ɾ</sup> dat (日常会話ではこう言うと思う。)	ju:datʃi
83 43.97	sadatʃ sadgga..... サダギガ 調査者 Tok 氏の説明に お 73, 1, 29	
83 45.18	ikkake (余り雨に降るとのた、言葉で珍しい)	
83 52.40	zabui ) zabui a 方を多く使う。 sadat	
83 52.92	sa <sup>ɾ</sup> daɹ(ame) (このdはトの付発音である) (「サダキ」という意識) ↓ d <sup>ɾ</sup> of YUURACI 7ルとは sa <sup>ɾ</sup> daɹga <sup>ɾ</sup> ma <sup>ɾ</sup> :ɹ SARAT という。 「まわる」だ。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( )は厳密にする。

別紙番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  (54)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
83 60.39	sadat sadaggame <五分五分に使う>	
83 73.43	sadakgame (K) sadats	
02 37.79	ju=datsi <この語を使うより他、適當な ことばがない>	
02 37.84	miami (夕立に使う)は適當なコトバに ないらしい。 wuppuami [miamiは新雨の義、 wuppuamiは折々の雨の義]  <新(しい)雨というものは梅雨が終わって 次に云々が来て、雨がふるので いう。>	
02 46.97	# natiguri 半長と認む sat.	
02 47.31	wuri nu ami <希> (折々の雨の義で使う)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (55)
	255		
項目名 夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0247.56	NR < 適当な名前がない >	
0249.17	# atadaami	
0256.08	ju=datʃi < 新 >	
0256.89	harja:mi < 走り雨の義 >	
0257.12	#? Kawasj:ami < 逆かき雨の意味 >	
0275.97	Kasajari [この語は傘さやぶるほうの雨の義] [共通語の夕立に「くりにあう」の語彙がない。]	
0294.93	NR 「夕立」に「適当な」とはなし	
0340.00	# a'tami (夕立の義に「あつたみ」はあつた)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( )〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (56)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1156.89	mat'figuri <古>	nagasi
1167.01	kurigaki <古> (kurigakiは老人が用いる)	attaami
1213.76	NR. 「夕立」に相当する詞材(とい)。	
1233.61	NR. <知らた>	
1242.22	(?) ju=zami <mat'figuriといふことを聞いたことがある>	
1242.26	? zattabui (?)	
1251.04	katabui (?)	
1251.27	zattabui # <急な降り雨量>	
1260.78	? magasi	
1260.87	# ? t'ju:t'fanzampui	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	㊤ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (57)
	255		
項目名			
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
12 61.01	attaami (大い)	
	tidaami (小い)	
12 61.70	Zattabui (?) #	
20 67.52	* amore	a: more
20 74.69	NR. 〈夏の頃. ほぼ同一時間には大雨のとは junurja-ami といふ〉	
20 76.25	natsia: mo: re. 半長と認 sat.	
21 40.49	? amaguri	
21 40.96	? natjami	
21 41.71	NR [子供は mazimununu-ami (魔物の雨) といふ。]	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

買附番号	地図番号	<input checked="" type="radio"/> 普通注記 <input type="radio"/> (B 除いた共通語) <input type="radio"/> (C 除いた特殊語)	ページ  (58)
項目名			
夕立 110			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2150.06	amaguri <古>	natfami
2151.64	(?) ata:mi (俄雨のこと。夕立とはちがう のてははか3うか。)	
2151.67	(?) ata:mi (ata:miは俄雨の意 であ3う。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(1)
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
08 61.48	ʃitaki <ʃitaki かがマまた. 黒い雲がまた, と 通師は 皆言う。>	ju:datʃi
16 99.14	新. ヲウダチ	ニワガアX
27 13.83	共. ヲウダチ	オッカゲアX
27 41.46	ユウダチ <共>	ニワガアX タマシアX <子>
37 02.81	ju:datsi <新>	pirakaame
37 52.53	ju:~datsi <共>	niwakaame <sup>e</sup> <sup>e</sup> とみとむ sat.
37 88.58	ライキモヨ (ライキモヨは雨になるまでの 空石"エ"いうら"い.)	カタ文
45 98.33	ju:datsi <新>	arasame
46 09.25	ju:datsi [新]	niwakaame
46 09.54	ju'dadzi <共>	niwagasame



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(2)
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
46 48.42	jw:datʃi 〈共, 希〉	kadatsi <sup>例</sup> 〈kadatsi kakatte kwkw〉 (夕立 降りやうに rō, rō 〈3?〉)
46 48.59	jw:datʃi 〈新〉〈子〉	kandatsi 〈希〉 kandadzi 〈希〉
46 52.79	jw:datʃi 〈新・希〉	niwaka ame
46 85.28	jw:datʃi …… (共)	jwidatsi
46 89.62	jw:dadzi 〈上〉	niwaga ame raesama ame (雷を とらるる場合)
47 40.93	jw:ʃadzū 〈新〉	ogaʃadzū ogaʃadzū ame
47 41.43	jū:datʃi 〈新〉 ← 〈最近の言い方〉 〔jū:datʃi〕	piwaka ame raisama ame 〈raisama 鳴る と 3〉

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

買付番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(3)
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
47 45. 27	jɯw:datsɯ <新>	siŋwɯɾɯ... 夏に限らず使 ore:samaame
47 71. 92	jɯ:datsi <新>	katatsiame
47 94. 30	jɯ:datsi <今はこれを使う>	raesamaame
55 06. 68	ju:datsi <新>	murasame
55 07 20	ju:datsi <新>	murasame arasame
55 08. 16	ju:datsi <新>	murasame
55 17 57	ju:datsi <共>	murasame
56 12. 22	jɯw:datsi (共?)	araswame 筒取の軽い。
<del>56 35. 65</del>	<del>コウダ</del>	最初に氷と堂で。
56 35. 65	コウダ <新>	カンダ <古>

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(4)
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 36.49	ユウダチ 〈新〉	カニダチ カニダチアX
56 36.74	ユウダチ 〈アラタマルト〉	オカニダチ 〈フツウツカウ〉 カニダチ
56 41.99	kaɾmdatʃi 〈昔ニウハルマシタ人トアリ〉	juɾ:datʃi
56 45.27	カニダチ 〈古〉〈オヤダチガ カニダチトイッタ〉	ユウダチ
56 57.73	ユウダチ (共)	アケアX 〈※〉 〈雷鳴をとまね やない〉
56 61.34	ju:datʃi 〈共〉	kandatsjame
56 71.00	ju:datʃi 〈新〉	kandatsjame
56 71.36	ju:datʃi 〈新〉	okandatsʃi
56 72.67	ju:datʃi 〈新〉	okandatsʃi
56 81.41	ju:datʃi 〈上〉	jo:datʃi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は裏面にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255	(B) 除いた共通語	
項目名	夕立 159	(C) 除いた特殊語	(5)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 89.34	共 jw=datʃi	ʃiŋwre
57 03.03	jw=datʃi (希) <ニワカニヒ> とみとむ Sat.	niwakaame <普通使>
57 82.79	jw=datʃi <希>	ʃiŋwreame
57 91.23	jw=datʃi <新>	ʃiŋwre
62 87.71	ju=datʃi <新> kakeburiの挿入 たれば ju=datʃiは 併発の Sat.	kakeburi <ニワカニヒ あはれこれに通る所 ニワカニヒに限る>
<del>63 69.32</del>	<del>ヨウダ</del>	<del>ヨウダ</del>
64 08.88	ヨウダ <共希>	ヨウダ カミナリ <共希>
64 09.35	ヨウダ <共希>	ヨウダ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(6)
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 09.72	ユウダダ 〈共〉	ヨオダダ
64 11.66	イウダダ 〈新〉	ムラサ (村雨のこと) カミナリアX
64 19.50	ユウダダ 〈共〉	ヨオダダ ニワカアX 〈共〉 ライウ 〈希〉
64 28.13	ユウダダ 〈共希〉	ヨオダダ
64 28.91	ユウダダ 〈共新希〉	ヨオダダ
64 29.15	ユウダダ 〈新〉	ヨオダダ 〈古〉
64 29.30	ユウダダ 〈共希〉	ヨオダダ
64 37.07	ユウダダ 〈新希〉	ヨオダダ
64 48.61	ユウダダ 〈新〉	ヨダダアX

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255	B 除いた共通語	
項目名		C 除いた特殊語	(7)
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 49.33	ユウダチ <新>	ヨダチ
64 58.08	ユウダチ <新>	ヨダチ <古>
64 69.77	ユウダチ <新・共>	ソオバイ
64 74.03	ユウダチ <稀>	ソバエ ソバエ
64 74.50	ユウダチ <新>	ソバエ
64 76.17	ユウダチ <新>	ソバイ <古>
64 77.02	ユウダチ <新>	ソバエ ドントロバエ <雷を伴ったとき さいう。>
64 85.82	<新> ユウダチ	<古> ヨオダチ <ヨオダチは 在所(田舎の方)は 今でも用"2"る。>

- ▶ A・〔B〕・〔C〕などに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	普通注記	ページ
	255	〔B〕 除いた共通語	
項目名	夕立 119	〔C〕 除いた特殊語	( 8 )

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 86. 93	ユウダダ 〈新〉	サダダ
64 87. 66	ユウダダ 〈新〉	サダダ
65 08. 74	〈共〉ユウダダ (方言でユウダダというのは おみほりのこと。)	ニワカアX
65.20. 94	ユウダダ 〈希・共〉	ヨダダ
65 25. 75	yu:datʃi 〈新〉	yodatʃi
65 29. 63	ju:datʃi 〈新〉…… 〈今ではju:datʃiと…X が 多く使われる。〉	jo:datʃi
65 30. 23	ユウダダ 〈共〉	ヨダダ
65 34. 37	yodatʃi …… 〈八日市近郊の農家の人は この形を 使うようだ。〉	yuidatʃi
65 51. 20	ユウダダ 〈新〉	ヨダダ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(9)
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 53.47	ju:datʃi <新>	jodatʃi <老人> (<老人>が使う, 従って今ではほとんど「コーダツ」の勢で圧倒されてゐる。)
65 58.09	ju:datʃi <新>	jo:datʃi
65 60.40	コダツ <新共>	ヨダツ
65 63.58	ju:datʃi <新>	jodatʃi
65 81.52	コダツ <共>	コダツ ヨダツ <こいう人もある。>
65 82.73	コダツ <共>	ヨダツ
65 92.10	コダツ <共>	コダツ ヨダツ <老人が使うのをヨダツといふ。> こゝにある。



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買回し番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(10)
夕立 119			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
66 00.53	ju:datʃi <共>	jo:datʃiame
66 15.09	ユウダダ <共>	オカニダダ
66 45.01	ju:datʃi 新	kandatʃi (~jo Furu と「.」)
66 49.28	ju:datʃi <共>	kandatʃi
66 65.25	ju:datʃi <新>	niwaka āme
66 77.70	juʔ:datʃi <新>	kaʔminaridziki <「雷」の音>
66 98.20	ju:datʃi <「イ」の便用>	piwaka ame <多<便>>
67 01.46	ju:datʃi <新・共>	murasame <古>

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は緊密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	255	<input type="checkbox"/> B 除いた共通語	
項目名		<input checked="" type="checkbox"/> C 除いた特殊語	(11)
夕立	119		

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
67 11. 12	ju:datʃi <共>	mukasame
73 08. 33	ju:datʃi <新>	subai
73 57. 69	ju:datʃi <sup>-</sup> <新>	jo:datʃi <sup>-</sup>
74 12. 71	ju:datʃi <新>	sadatʃi
74 13. 62	ju <sup>~</sup> :datʃi <共>	sādatʃi
74 23. 80	ju <sup>~</sup> :datʃi <共>	#sādatʃi
74 36. 68	ju <sup>~</sup> :datʃi <共>	sādatʃi
75 00. 24	ユウダ 〔共〕	#71
75 03. 48	<今付> ju <sup>r</sup> :datʃi	jo <sup>r</sup> datʃi
75 10. 18	ユウダ <新>	ユウダ <多<使う>> #71

